

令和 8 年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

## 美 術

|                  |  |            |  |
|------------------|--|------------|--|
| 受<br>験<br>番<br>号 |  | 氏<br><br>名 |  |
|------------------|--|------------|--|

### 注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 4 ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領」（平成 30 年 3 月告示）における芸術科「美術 I」の目標である。後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

美術の幅広い創造活動を通して、①造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)…略

(2)…略

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、②心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- (1) 文中の下線部①について、学習指導要領の解説では、どのような見方・考え方とされているか書け。

- (2) 文中の下線部②について、学習指導要領の解説では、どのような態度とされているか書け。

- 2 次の文は、「高等学校学習指導要領」（平成 30 年 3 月告示）における芸術科「美術 I」B鑑賞(1)鑑賞の事項の一部である。後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1)鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞

(ア) ( a ) なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。

(イ) 目的や ( b ) との調和のとれた ( c ) 美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。

(ウ) ( d ) の特質や ( e ) などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。

- (1) 文中の ( a ) ～ ( e ) に当てはまる語句を書け。

- (2) 右の作品を鑑賞する題材を設定したい。次の①～③の問いに答えよ。

① この作品の作者名を書け。

② この作品の美術史上の様式を書け。また、その様式における造形の特徴について説明せよ。

③ この題材の導入において、文中の下線部を実現するための学習活動を具体的に 2 つ書け。

3 次の説明文を読み、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

絵の具は、水や油に溶けない性質をもつ色の粉である（ a ）と、それを紙やキャンヴァスなどに定着させる展色剤によってつくられている。

（ b ）は、卵が展色剤の役割を果たす。西洋絵画の伝統的な技法の一つで、耐久性に優れている。

油絵の具は、空気中に放置すると固まる（ c ）を展色剤にした絵の具である。独特の光沢と透明感があり、しっかりと定着する。

日本画の絵の具は、動物性コラーゲンを濃縮して固めた（ d ）を展色剤とする。鉱石などを原料とする（ e ）と、天然の土や染色した胡粉を原料とする（ f ）がある。

(1) 文中の（ a ）～（ f ）に当てはまる語句を書け。

(2) 次の①～③はどのような絵画技法か、それぞれ説明せよ。

① グラッシ（グレース）

② グリザイユ

③ 破墨法

4 次の作品は、17 世紀に描かれた『風神雷神図屏風』である。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) この作品の作者名を書け。

(2) この作品の形式を語群から選び、記号で書け。また、その形式について説明せよ。

〈語群〉

ア 二曲一隻

イ 四曲一双

ウ 二曲一双

エ 四曲一隻

(3) この作品を教材として、教科等横断的な授業を行いたい。どのような教科との関連付けが考えられるか、教科名を書き、学習活動を具体的に書け。

5 次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～④について説明せよ。また、それぞれに当てはまる版種や技法を後の語群から全て選び、記号で書け。ただし使用しない選択肢もある。

① 孔版画

② 平版画

③ 凹版画

④ 凸版画

〈語群〉

A ウェットインウェット

B 木版

C リノカット

D リトグラフ

E シルクスクリーン

F アクアチント

G エッチング

H メゾチント

I オフセット

J ステンシル

(2) 下の作品は孔版画による作品の一部である。後の①、②の問いに答えよ。

① この作品の作者名を書け。

② 生徒にこの作品について説明したい。どのように説明するか版種の特徴に着目して書け。

6 画像データの解像度について、文中( ① )～( ⑦ )に当てはまる語句を後の語群から選び、記号で答えなさい。

解像度とは、画像データの画素の( ① )をあらわした数値のことである。単位は一般的に「ppi (pixel per inch) ピーピーアイ」が使われており、数値が高いほど高解像度＝( ② )画像になる。ただし、高解像度になるほどファイルサイズも( ③ )なるので、写真の用途に合わせて適切な解像度にすることが重要である。

いくら高解像度であっても、( ④ )が大きくなれば画像は粗くなる。そのため解像度だけでなく、画像をどのくらいのサイズで使うかも意識する。一般的に印刷物には( ⑤ )解像度が必要で、フルカラーの印刷物なら原寸サイズで( ⑥ )ppi、ウェブなら( ⑦ )ppiの解像度が必要になる。

〈語群〉

ア 高い

イ 密度

ウ 32～64

エ 拡大率

オ 大きく

カ 350

キ データ量

ク 粗さが目立つ

ケ きめ細やかな

コ 縮小率

サ 小さく

シ 50

ス 72～96

セ 低い

- 7 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)における芸術科「美術Ⅰ」A表現(1)絵画・彫刻の学習として、人物を塑像であらわす題材を設定したい。このことについて、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 題材の導入で次の2つの作品A、Bを鑑賞したい。それぞれの作者名を書け。

A



B



- (2) 作品A、Bの鑑賞を踏まえ、塑像作品を制作したい。生徒が自ら主題を生成できるよう、手立てを3つ書け。

- 8 次の説明文を読み、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

PCCS (Practical Color Co-ordinate System) では、色相を ( ① )、明度を ( ② )、彩度を ( ③ ) と呼ぶ。また、②と③をまとめて ( ④ ) と呼ぶ。

明度では、白から黒までのグレイスケールを明度の基準とし、最も明るい白の明度を ( ⑤ )、最も暗い黒の明度を ( ⑥ ) としている。

彩度では、各色相で最も鮮やかな色を基準として選び、これを ( ⑦ ) という最も高い彩度の段階として位置づけ、この色を ( ⑧ ) としている。どの色相であっても、( ⑧ ) はすべて同じ ( ⑦ ) という彩度に位置づけられる。

- (1) 文中の①～⑧に当てはまる語句等を答えよ。

- (2) 次のa～cは配色に関する言葉である。それぞれ説明せよ。

a 同一トーン配色

b セパレーション

c ドミナントカラー

- 9 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)における芸術科「美術Ⅰ」A表現(2)デザインの学習として、部活動のマスコットキャラクターをデザインする題材を設定したい。このことについて、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 生徒にマスコットキャラクターを発想・構想させる際の学習活動例を3つ書け。

- (2) 題材のまとめとして、完成作品を相互に鑑賞する時間を設けたい。その際、鑑賞のポイントとして生徒に示す事柄を2つ書け。

- 10 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)における芸術科「美術Ⅰ」A表現(2)デザインの学習として、パッケージデザインを制作する題材を設定したい。このことについて、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) パッケージデザインにおいて、デザイン上の留意点を書け。

- (2) 名物や特産物のパッケージデザインについて、形状を工夫したパッケージデザインを考え、生徒に提示するデザイン案を描け。また、デザイン上のポイントについて説明せよ。

|         |         |      |  |    |  |
|---------|---------|------|--|----|--|
| 美術 解答用紙 | 2 枚中の 1 | 受験番号 |  | 氏名 |  |
|---------|---------|------|--|----|--|

(8 年)

1

|     |  |
|-----|--|
| (1) |  |
| (2) |  |

2

|     |   |    |       |  |   |  |   |  |   |  |  |
|-----|---|----|-------|--|---|--|---|--|---|--|--|
| (1) | a |    | b     |  | c |  | d |  | e |  |  |
| (2) | ① |    |       |  |   |  |   |  |   |  |  |
|     | ② | 様式 | 造形の特徴 |  |   |  |   |  |   |  |  |
|     | ③ |    |       |  |   |  |   |  |   |  |  |

3

|     |   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |
|-----|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|
| (1) | a |  | b |  | c |  | d |  | e |  | f |  |
| (2) | ① |  |   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |
|     | ② |  |   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |
|     | ③ |  |   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |

4

|     |    |      |
|-----|----|------|
| (1) |    |      |
| (2) | 記号 | 説明   |
| (3) | 教科 | 学習活動 |

5

|     |   |  |   |  |  |    |
|-----|---|--|---|--|--|----|
| (1) | ① |  |   |  |  | 記号 |
|     | ② |  |   |  |  | 記号 |
|     | ③ |  |   |  |  | 記号 |
|     | ④ |  |   |  |  | 記号 |
| (2) | ① |  | ② |  |  |    |

|         |         |      |  |    |  |       |
|---------|---------|------|--|----|--|-------|
| 美術 解答用紙 | 2 枚中の 2 | 受験番号 |  | 氏名 |  | (8 年) |
|---------|---------|------|--|----|--|-------|

6

|   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |   |  |
|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|
| ① |  | ② |  | ③ |  | ④ |  | ⑤ |  | ⑥ |  | ⑦ |  |
|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|

7

|     |   |  |   |  |
|-----|---|--|---|--|
| (1) | A |  | B |  |
| (2) |   |  |   |  |
|     |   |  |   |  |
|     |   |  |   |  |

8

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| (1) | ① | ② | ③ | ④ |
|     | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| (2) | a |   |   |   |
|     | b |   |   |   |
|     | c |   |   |   |

9

|     |  |
|-----|--|
| (1) |  |
|     |  |
|     |  |
| (2) |  |
|     |  |

10

|           |            |  |
|-----------|------------|--|
| (1)       |            |  |
| (2) デザイン案 | デザイン上のポイント |  |
|           |            |  |

以下はあくまでも解答の一例です。

|         |         |      |    |       |
|---------|---------|------|----|-------|
| 美術 解答用紙 | 2 枚中の 1 | 受験番号 | 氏名 | (8 年) |
|---------|---------|------|----|-------|

1

|     |                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) | (例)美術の特質に応じた物事を捉える視点や考え方として、表現及び鑑賞の活動を通して、感性や美意識、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと。 4 |
| (2) | (例)生活や社会を造形的な視点で幅広く捉え、生活環境を美しく造形的に構成するとともに、人々がともに心豊かに生きることのできる社会を創造しようとする態度のこと。 4               |

2

|     |   |                |   |                                                              |   |       |   |          |   |        |
|-----|---|----------------|---|--------------------------------------------------------------|---|-------|---|----------|---|--------|
| (1) | a | 造形的            | b | 機能                                                           | c | 洗練された | d | 映像メディア表現 | e | 表現効果   |
|     | ① | ヴァシリー・カンディンスキー | 3 |                                                              |   |       |   |          |   |        |
|     | ② | 様式<br>抽象主義     | 3 | 造形の特徴<br>(例)自然の形や姿を再現せず、色彩や形体などの造形要素だけで作品を構成している。            |   |       |   |          |   | 4      |
| (2) | ③ |                |   | ・(例)ワークシートを利用し作者の内面や作品の背景を見つめたり、自分の生き方や表現に対する姿勢と比較したりする学習活動。 |   |       |   |          |   | 4      |
|     |   |                |   | ・(例)グループ活動を通し、表現の意図と創造的な工夫について考える学習活動。                       |   |       |   |          |   | 4      |
|     |   |                |   |                                                              |   |       |   |          |   | (1)各 3 |

3

|     |   |    |   |      |   |     |   |   |   |      |   |        |
|-----|---|----|---|------|---|-----|---|---|---|------|---|--------|
| (1) | a | 顔料 | b | テンペラ | c | 乾性油 | d | 膠 | e | 岩絵の具 | f | 水干絵の具  |
|     | ① |    |   |      |   |     |   |   |   |      |   | 4      |
| (2) | ② |    |   |      |   |     |   |   |   |      |   | 4      |
|     | ③ |    |   |      |   |     |   |   |   |      |   | 4      |
|     |   |    |   |      |   |     |   |   |   |      |   | (1)各 2 |

4

|     |                   |                                                                                                      |
|-----|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) | 俵屋 宗達             | 3                                                                                                    |
| (2) | 記号<br>ウ 2         | 説明(例) 曲は屏風がいくつの画面（扇）数からできているのかを示す言葉で、画面の数が二つなので二曲となる。双は二つで一組となるものという意味である。 3                         |
| (3) | 教科<br>(例)<br>地理歴史 | 学習活動 （例）『風神雷神図屏風』の制作背景や時代背景、作者について調べ、制作の意義や作風などへの影響について議論する。社会文化や宗教、政治情勢と絵画の関連性について考察し、当時の状況を理解する。 4 |

5

|     |                                                                        |                 |   |                                                                   |             |      |
|-----|------------------------------------------------------------------------|-----------------|---|-------------------------------------------------------------------|-------------|------|
| (1) | ① (例)版の孔からインクを通過させて刷る方法のこと。                                            |                 |   | 4                                                                 | 記号<br>E、J   | 完答 3 |
|     | ②(例) 水と油の反発作用を応用し、平面の油性部分にインクを付着させて刷り取ったり、平滑な版の表面にインクを塗り刷り取ったりする方法のこと。 |                 |   | 4                                                                 | 記号<br>D、I   | 完答 3 |
|     | ③(例) 絵柄の部分を彫り込んで版をつくり、その溝にインクを詰め、プレス機で圧力をかけて刷る方法のこと。                   |                 |   | 4                                                                 | 記号<br>F、G、H | 完答 3 |
|     | ④(例) 絵柄のない部分を削って版をつくり、凸部にインクをつけて刷る方法のこと。                               |                 |   | 4                                                                 | 記号<br>B、C   | 完答 3 |
| (2) | ①                                                                      | アンディ・ウォーホル<br>2 | ② | (例)シルクスクリーンでは写真を利用した製版が可能であり、ウォーホルはインクの色を変えて同じ版から配色の異なる作品を複数制作した。 |             | 4    |



|         |       |      |    |
|---------|-------|------|----|
| 美術 解答用紙 | 2枚中の2 | 受験番号 | 氏名 |
|---------|-------|------|----|

(8年)

6

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | イ | 2 | ② | ケ | 2 | ③ | オ | 2 | ④ | エ | 2 | ⑤ | ア | 2 | ⑥ | カ | 2 | ⑦ | ス | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

7

|     |   |                                              |   |   |               |   |
|-----|---|----------------------------------------------|---|---|---------------|---|
| (1) | A | アリスティード・マイヨール                                | 2 | B | アルベルト・ジャコメッティ | 2 |
|     |   | ・(例) A、B 2つの作品を対比させ、表現方法の違いについて考えさせる。        |   |   |               | 3 |
| (2) |   | ・(例) 人に対する自己のイメージを整理するため、ワークシートに自分の考えを記入させる。 |   |   |               | 3 |
|     |   | ・(例) A、Bの造形的な特徴をふまえて、他の彫刻表現について紹介し調べさせる。     |   |   |               | 3 |

8

|     |                                                  |        |           |      |   |
|-----|--------------------------------------------------|--------|-----------|------|---|
| (1) | ①ヒュー                                             | ②ライトネス | ③サチュレーション | ④トーン |   |
|     | ⑤9.5                                             | ⑥1.5   | ⑦9s       | ⑧純色  |   |
| (2) | a 色相だけを変化させた、同一トーン同士での明度と彩度が同じ配色のこと。             |        |           |      | 3 |
|     | b 色と色との間に別の色で境界を入れることで、イメージを和らげたり、引き締めたりする配色のこと。 |        |           |      | 3 |
|     | c 画面の中で最も重要視している色を全ての色に混色して色調を統一させた配色のこと。        |        |           |      | 3 |

(1)各 2

9

|     |                                               |   |
|-----|-----------------------------------------------|---|
| (1) | ・(例) 対象となる学校やクラブ活動のイメージを分析する。                 | 3 |
|     | ・(例) 特徴となるキーワードを書き出し、キャラクターの特徴や性格を考える。        | 3 |
|     | ・(例) 想定した特徴や性格などをアイディアスケッチで具体化する。             | 3 |
| (2) | ・(例) 形態の単純化や誇張などの表現方法の工夫がされているかどうか。           | 3 |
|     | ・(例) キャラクターの外見的特徴から、持ち味や性格などの内面的特徴が読み取れるかどうか。 | 3 |

10

|          |                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)      | パッケージはものを包むだけでなく、中身を保護する役割し、何を包み、どのような目的で使用するのかを明確にしてデザインを考える必要がある。 | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| (2)デザイン案 | 10                                                                  | <p>デザイン上のポイント 8</p> <p>(例)地域性の表現について考えた。パッケージには焼きまんじゅうを描き、地域の特産品を強調した。商品の特徴を伝達するために、焼きまんじゅうのイメージを大きく配置し、形状や色合いを鮮明に表現して特徴を伝えた。</p> <p>購買意欲を喚起するデザインとするために、特徴的な長い紙コップや、食欲をそそるイラストを配置した。パッケージデザインは、商品保護と携帯性が大切であるため、耐久性のある素材で作られ、持ち運びや歩きながらの食べる場面などの様々な点を考慮したデザインであることが大切であると考えた。</p> |

